

からしだね通信

12
2016

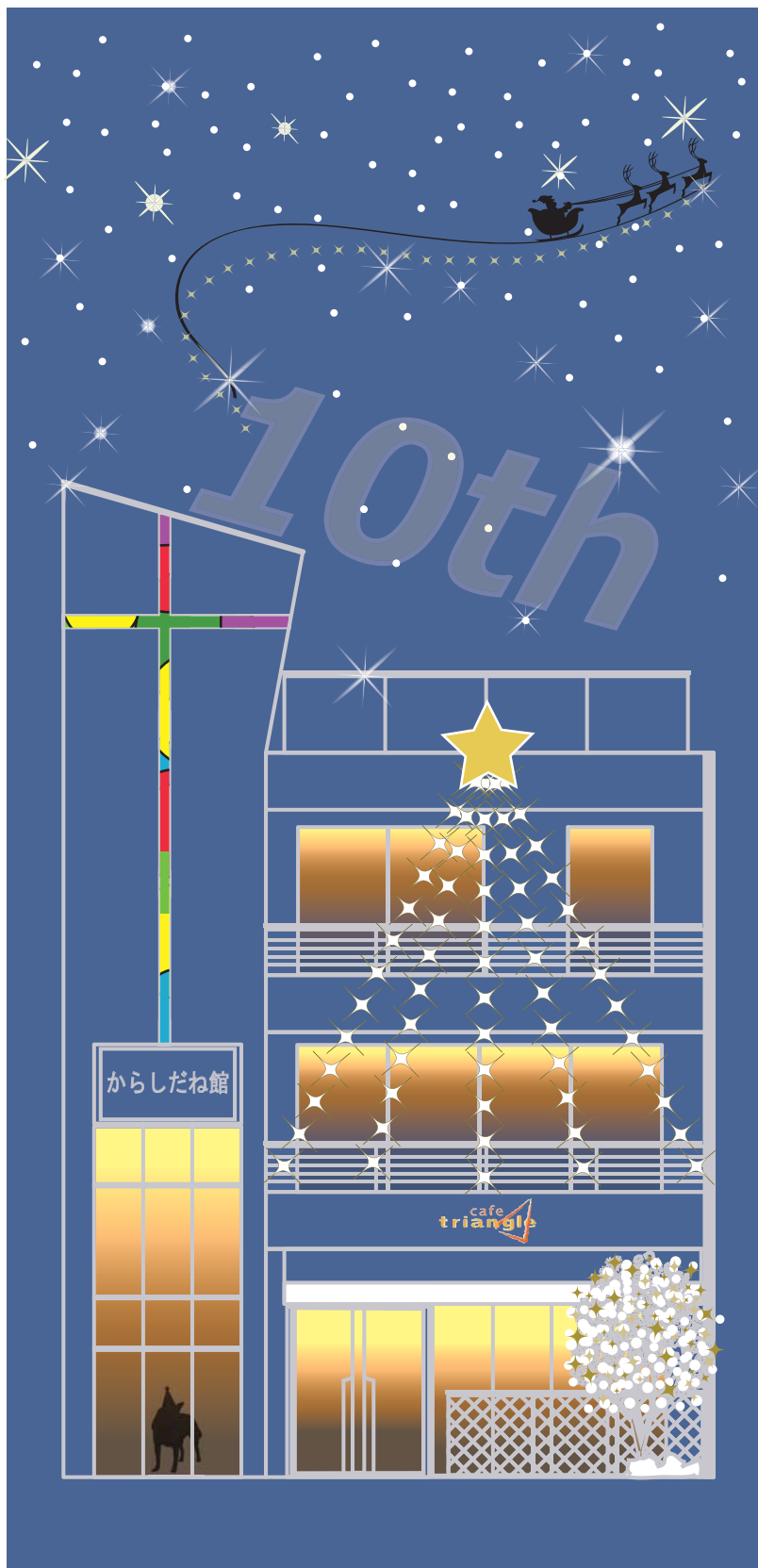
「受容」について

早いもので、今年も師走を迎えました。この一年もあっという間に過ぎた感じがします。特に、今年是从しだね館にとっては、開設10周年という節目の年でした。10年という年月は、過ぎてみれば短いようですが、しかしさすがにいろいろなことがありました。そして、その「いろいろなこと」の一つ一つには意味があり、無駄なことは何一つなかったと思返しています。その思いは、ちょうど福祉の世界で言う「受容」と似ています。それはこの10年の働きの中で私たちが学んだことでもありました。オランダのイエズス会修練長の、ピーター・ファン・ブレイメンという方が「受容を受け入れる勇気」という短い文章を書かれています。「受容とは、私と共に生活している人が、私に敬意を払っていることを感じさせ、私に価値があることを感じさせてくれることである。彼らは私が私であることによって幸福なのである。受容とは、私自身であることが歓迎されることである。」ここには、対人援助の技術論で学ぶレベルの「受容」を超えた真理があるように思います。「受容」というのは、普通私たちが抱くイメージよりもずっと積極的なものなのかもしれません。

今年の夏、私は尊敬する一人の先輩（Tさん）をがんで亡くしました。2年前、検診ですい臓がんが見つかった時、すでにステージ4で、余命も告げられていました。今年に入って抗がん剤治療を断念され、その後は緩和ケアを受けながら、ご自身の使命とされていた活動を亡くなる直前まで続けられ、最後はたんたんと逝かれました。「受容」とは、勇気に押され、希望に迎えられるものだと思います。

10年を越え、からしだね館はまた新しい年を迎えます。「受容を受け入れる勇気」をもって前進したいと思います。クリスマスの祝福が皆様の上にありますように。

理事長 坂岡隆司



センター報告

今回取り上げるテーマは…

こころのふれあいネットワーク事業

「こころのふれあい」ネットワーク事業とは

各区の行政を中心に精神に障害のある人やその家族が安心して暮らすことが出来るよう、イベントや研修会などを通して地域に向けて正しい知識の普及・啓発をしています。また、地域との交流を図り、精神障害者の自立や社会参加について考えています。


からしだねセンターも実務者としてこの事業に携わっています。その他、福祉サービス事業所、大学教授、当事者などが参加をしています。今回は山科・東山・醍醐地域のネットワーク事業の様子をご紹介します。

山科こころの健康を考える会

「こころの病って何ですか?」
「発達障害について」

「病院から地域生活へ」
「地域で生活するために…」

「事例紹介」



「こころのふれあい 夏まつり」

「サポーター講座」
「フォーラム」

お化け屋敷

「お茶席」
「からしだねワークスも焼き菓子やドリシク等を販売しています。」

「関係機関や地域に向けて精神保健福祉に関する知識の普及・啓発をします。」
「病院や地域の支援員、当事者などがお話をされます。」

伏見区こころの健康を考える集い 醍醐ふれあい作品展

「伏見区醍醐地域の事業所や病院の関係者、当事者が会議に出席し、イベントの企画をしています。」

「以前は伏見区全体の『伏見区こころの健康を考える集い』に参加していましたが、現在は醍醐地区に絞ったネットワーク、『醍醐ふれあい作品展』に参加しています。」

「『伏見区こころの健康を考える集い』は当事者主体の非常に活気のある集まりでした。地域に向けて理解・啓発を促すため、舞台発表や展示などの企画しており、当事者の方が意見を出し合いイベントを作り上げる様子が印象的でした。」

東山区こころのふれあい ネットワーク

「講演会」
「作品展」

「病院の先生等を講師にお招きし、講演会を実施。精神に障害のある方を地域で支え合うまちづくりを目指します。」

「『もしかして、これって認知症?』
『知っているよ安心・こころの健康』」

「社会福祉協議会のサロンとの共催事業」

「利用者さんの書道や絵画の作品展などを展示しました。」

「※クリスマス会の様子」

主任より

からしだねセンターでは、障害のある方々の地域生活をサポートするため、さまざまな専門機関と連携しながら、支援をしています。「連携」と一言で言っても、誰がどんな役割をしているのか、よく知らないまま連携することは難しいものです。

今回ご紹介したネットワークでは、精神障害の当事者、行政機関、各区の社会福祉協議会、地域の福祉事業所、大学などが定期的に集まってイベントをしたり、会議をしたりするので、顔と顔の見える関係づくりができます。それによって、支援の必要なときに、〇〇事業所の△△さんに相談してみよう、とスムーズな連携ができるようになっていきます。イベントに参加してくださった地域住民の方も、「夏まつり」で一緒やったからしだねに聞いてみよう」と連絡を下さることも。支援に欠かすことのない「連携」について、今後も積極的に取り組んでいきたいと思っています。

(武山)

～お仕事紹介～ ワークス報告

今回ピックアップするお仕事はリネン・清掃 & からしだね農園です。

リネン・清掃

リネンでは、カフェや厨房で使用するユニフォームの洗濯・アイロンがけをしています。清掃では、階段・廊下・お手洗い・地下ホール等、からしだね館内を綺麗に掃除します。どちらも表舞台に立つ仕事ではありませんが、縁の下の力持ちとしてからしだねワークスを支えています。

リネン



清掃

バッチリ☆



隅々まで

綺麗に…



からしだね農園

新しく加わった仕事です。滋賀県にある農園「うさファーム」さんより土地をお借りし、農園を始めました。うさファームさんからの受託作業とからしだね農園での野菜の栽培・収穫。この二本柱で新たな仕事をスタートさせました。



うさファームさんのいちごハウス

半分くらいお借りしています

からしだね農園

雑草除け



もみ殻などを使い雑草除けをします



水やり



トウモロコシ



新鮮な夏野菜がたくさん収穫できました！ナス



主任より
いつも、からしだねワークス（就労支援事業所）の働きに関心を持ってくださり、またご協力いただいて有難うございます。今回は、リネン・館内清掃・からしだね農園それぞれの活動が紹介されています。リネンと館内清掃は裏方仕事、縁の下の力持ち的存在です。目立たないですが、ほんとうに必要な大切な仕事を皆黙々とこなしておられます。

からしだね農園が一番新しいセクションで、今は合わせて四、五人が作業に行っておられますが、これからどう展開していくのか楽しみです。人の嫌がること、キツイこと、汚れること、汗をかくこと等々、仕事の要素がギュッと詰まった仕事、これからもこれらを大切に、そこで頑張る人をきちんと評価できるワークスであり、ここで働くひとりひとりでありたいと願っています。これからもからしだねワークスをよろしく願います。

（鍋島）



久々の登場です。覚えてますか？



当事者と支援者 それぞれの思い



2012年12月号に本誌初登場をした浅汐さん。今まで躁うつ病、発達障害などの病気や障害、服薬、恋愛のことなど語って下さっていました。今回は、前回の登場から2年半の空白を中心にお聞きしています。

初対面で緊張するとうなるんですよね。服薬に関しては今はちゃんと自分に合った服薬をしています。この時はやっちゃったなあという感じですね。
2013年2月号掲載

1年前から 週5日の勤務

田中 今、一般就労されてるんですよね。

浅汐 そうです。元は年末年始の短期バイトをしていたんですが、欠員が出ることで上司に声を掛けられて、B型事業所を併用しながら、郵便局で働いて1年が経ちます。

田中 続いてますよね。何かモチベーションはあるのですか？

浅汐 やらしい話ですけど、お金の違いはありますね。あとは何でしよう。そこは、主治医も不思議がっています。主治医からは1か月もたないだろうって言われ続けてましたから（笑）好きな事を仕事にしているのかと言われると、それは違いますしねえ。…本当なんでしょう。

田中 仕事が好きとか？

浅汐 今の仕事は好きでも得意でもないです。荷物が入り乱れてバタバタしている中で、「もうやばい、ドライバーさん行っちゃう」ってなると、パニックになって、見ないといけないところを見落としてしまうんです。熟読をしていると見抜けるのに、バタバタしていると見えなくなるんです。

田中 成程。仕事では、障害のこと

当事者 あさしお 浅汐 博人

センターでプログラムに4年通った後、次のステップとしてB型事業所通所。1年前に併用しながら、郵便局に勤務を始める。センターはケアマネジメントをする立場として見守っています。



は伝えているんですか？

浅汐 上司は知っています。無理しないでねって言うってくれています。障害のことも理解してくれている人も何人かいるけれど、人にもよるし、個人差もある…。理解は人それぞれですね。

田中 なかなか難しいところですね。浅汐さんは作業所と一般と両方経験されていますけど、福祉的就労と一般就労は違いますか？

浅汐 そうですね。福祉的就労と言ってもいろいろあって…からしだねワークス（以下、ワークス）みた



支援者 たなか みゆき 田中 美由紀



からしだね通信委員で
あり、浅汐さんの担当
をしている田中が、
今回はインタビューを
させていただきました。

いに仕事をがつつりとすると、今行っている作業所みたいに仕事を通して交流をするところもあって、んー違いか…。一般の会社って、上司は仕事の指示を出して、現場がうまく回るようなシステムをつくったりしていますけど、福祉は、利用者さんが今何が足りないか、どのスキルが必要か考えて、手助けしてくれるところだと思っています。会社は管理職というだけあって管理するだけ。福祉は上からも下からも支える…一般の会社よりも支える機能が強いと思います。

先輩とケンカ

田中 約1年続けている中で、辛いか辞めたいとか感じますか？

浅汐 しよつちゆう思います…。

田中 1番大きかった出来事は？

浅汐 先輩とケンカをしたことですね。あの時は、もう辞めようと思っただんですけど、課長さん含め3人にとめられて、説得をされました(苦笑)

田中 今、その人とは？

浅汐 あんまり嫌っても、ギスギスして仕事やりにくくなるので、適当に調子を合わせてます。「ごめん」「ありがとう」は言うようにして、イラッとしても適当にやり過ぎないようにしています。

田中 すごい(笑) 息抜きとかはどうしてます？

浅汐 仕事オンリーなので、作業所で職員さんに冗談を言っている時が楽しいです。でも、最近しんどくて、夕方の仕事はやめたんです。そしたらやっぱバイクでどこかに出かけたりできるようになりました。

田中 作業所はどんな感じですか？

浅汐 そうですね、僕が行ってるところは少し特殊なんです。就労支援メインですけど、生活全般のことも見てくれる家族的なところ。愚痴を

吐くと聞いてくれる人がいます。一人で悩んでいるとつぶれてしまうかもしれないので一般就労をしている今の自分にとってはありがたいことです。

求められる喜び

田中 今後も仕事は続けますか？

浅汐 まあ…。しんどくて休みがちになったりしない限りは辞めたいことを打ち消して働かないか、と思います。ある女優さんは若い頃は何をやってもうまくいなくて、それならなりたい自分になるより、求められる自分になるかと思いついたらしいです。それで言うと、自分のやりたい仕事は今でもエンジニアなんです。でもキャリア的にも年齢的にももう厳しいので、趣味でちよこちよこやっていこうと思っっています。夢は3Dプリンターを買ったので、それで叶えていきます。それより今求められているのは郵便局で、正確に区分すること。やりたいことばっかりでは、生活は出来ないと思うので…。

田中 以前から関わっていた職員が浅汐さんを「今、良い顔してる」と話してましたよ。

浅汐 仕事の考え方は変わった気がしないけど、任せられている、求め

られているという事で責任感を持つようになったかな。求められているからには「いらん」と言われるまで、やりきらないとな〜と思います。今まではタイピング、環境がそろわなかったかな〜と。身体こわれて辞める時もあるんですが…。その時、辞められて残念と言われて。今は、その時より時間も短いし、契約社員といってもバイトに毛が生えたようなもんだから、気楽なかも。

最後に…

田中 最後に一言お願いします。

浅汐 浅汐博人、40歳、郵便局勤務。彼女募集中です(笑) 好きな女性のタイプは、優しく、明るくて、白シャツが似合っていて、部屋の掃除が得意な…。(延々) ……ゆるふわギャル(笑)

田中 はい、ありがとうございます(笑)



★ いつもありがとうございます ★

ご支援ご協力者様 <8~10月>

【後援会協力者個人様お名前】

青木美弥子様
内山映子様
梅本和英様・多伊子様
岡本年美様
小笹輝子様
小金丸幹夫様
坂岡敏延様・千恵子様
坂本正路様
高田須磨雄様

辻貴子様
中村喜仁様
中山保子様
奈倉道隆様
藤野美弥子様
伏見谷倫代様
松井和雄様
松田和代様
三浦良夫様
三好徳昌様
渡辺玲子様

【ご寄付・ご寄贈者様お名前】

インマヌエル京都伏見キリスト教会様
岡美智代様
表順子様
倉信彰義様・範子様
朱常分店様
椿栄様
原口熱美様
藤田明子様
牧田稔様

*万が一もれがございましたらご一報くださいますようお願いいたします。

後援会入会のお願い

社会福祉法人ミッションからしだね後援会は「ミッションからしだね」を応援することにより、地域で暮らす障害者、とりわけ精神障害者の方々をサポートすることを目的とした団体です。後援会の趣旨に賛同していただける方を募集しております。会員様には機関誌やカフェトライアングルの情報、様々な催しのお知らせなどをお届けします。

■年会費

個人様 1口 3,600円
団体様 1口 10,000円

■会費振込先

郵便振替
口座番号：00970-2-222380
加入者名：社会福祉法人ミッションからしだね後援会

お便り募集中！！

通信をお手にとってくださり、ありがとうございます。からしだね通信を今後もますます良いものにするため、ご意見・ご要望・ご感想をぜひお聞かせください！

どうぞよろしくお願い致します。

送り先は→→→〒607-8216 京都市山科区勤修寺東出町75

「からしだね通信作成委員会」行



クリスマスですが、ちよっとおめかししてみました。似合うかな？



表紙の、黒い人(?)影は…

いただいたお便りは、作成担当者の励みとなっております。本当にありがとうございます。今後ともよろしくお願い致します。

次号3月1日発行です！